

FY2021活動計画

2021年7月



企業の資金調達の円滑化に関する協議会

CFTAJ Corporate Finance and Treasury Association of JAPAN

FY2020から継続して取り組むテーマ

① 優先的に取り組むもの

- ESG・SDGs調達の検証
- 社債市場の活性化（POT方式・マーケティング期間短縮）

② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

- リモートワークにおける財務活動の課題
- 貸金業法規制の適用緩和

その他テーマ

- 財務オペレーションの効率化・高度化（RPA、Fintech等）
- 財務戦略（格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）
- 財務人材の育成・ノウハウ継承
- グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化）

①優先的に取り組むもの

テーマ	ESG・SDGs調達の検証	社債市場の活性化 (POT方式・マーケティング期間短縮)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 19年度に優先的に取り組むテーマとして取り上げたが、マーケットは過渡期で新たな商品・調達手法が日々生み出されている状況。 ➤ 21年度は会員間での更なる情報交換の機会の提供や、必要に応じて証券会社を招聘し最新のマーケット状況に関するアップデートの機会を設けることも検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 20年度にはトランスペアレンシーが導入され、POT方式に一步近づいたが、POT方式の本格導入に向けて、POT方式で起債経験のある事業会社との情報交換や、必要に応じて証券会社を招聘し論点・課題について意見交換を行うことも検討する。 ➤ また、マーケティング期間短縮による起債運営の効率化および適正な手数料率についても併せてトピックの候補とする。

② 環境変化や会員意見を踏まえ、必要に応じて取り組むもの

テーマ	リモートワークにおける財務活動の課題	貸金業法規制の適用緩和
概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 20年度のコロナショック以降、リモートワーク／在宅勤務が社会の大きなテーマの一つとなった。 ➤ リモートワーク／在宅勤務への対応状況は各社濃淡があると想定される事から、必要に応じて会員間での意見交換の機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 当会では貸金業法規制のグループファイナンスへの適用緩和について継続して外部への働きかけを行っており、2014年、2017年改正で貸金業法規制緩和は一定程度実現しており、現状関心事となっている企業（セクター）は限られているとの理解。 ➤ 従い、情報収集は継続しつつ、当会での取り組みについては会員企業のニーズも踏まえ必要に応じて行うこととする。

テーマ候補

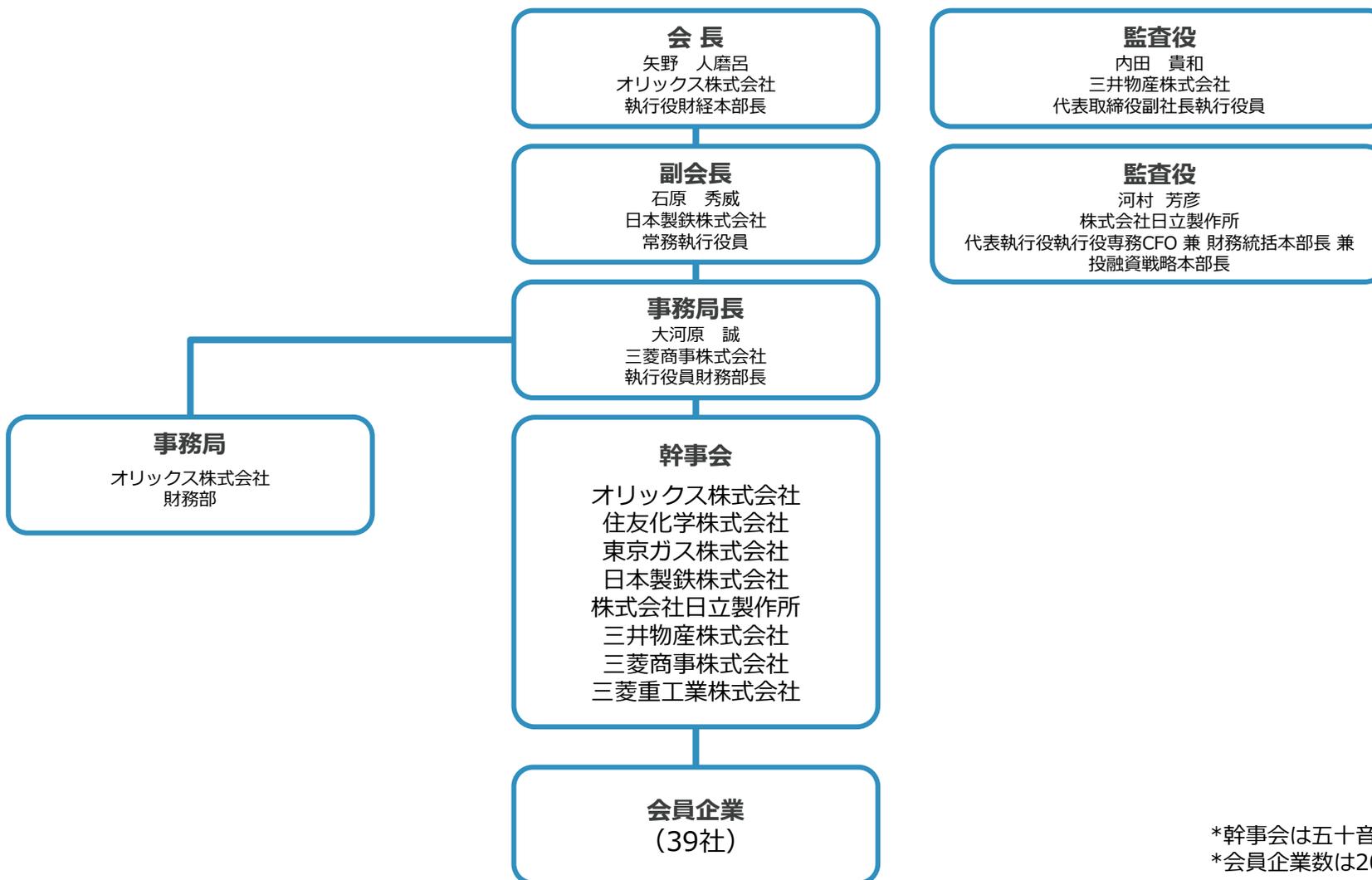
- 財務活動の効率化・高度化（RPA、Fintech等）
- 財務戦略（格付会社対応、金融機関政策、株主還元政策、調達戦略等）
- 財務人材の育成・ノウハウ継承
- 財務分野における生産性向上
- グローバルキャッシュマネジメント（金融子会社の機能高度化） 他

活動内容

- 会員企業のニーズを吸い上げ、内容に応じて情報交換会の実施や、外部への働きかけを行っていく。
- 特に、会員企業ごとにニーズが異なることも想定される為、テーマによって参加企業を振り分け、同様の関心事項を持つ企業間でディスカッション出来る機会を提供することも検討する。

FY2021 運営体制

- 2021年7月の総会を以て、2021年8月1日より新体制となる予定です。
- 8社の企業で構成された幹事会は定期的開催され、協議会の運営の中心的な役割を担います。



*幹事会は五十音順
*会員企業数は2021年7月現在